

2023 年 4 月 1 日

がん関連学術研究団体

代表者 殿

公益財団法人 日本対がん協会

会長 垣添忠生



2023 年度「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」候補推薦のお願い

謹啓

春陽の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より小協会の活動に対し、深いご理解と厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年もがん征圧活動にご尽力されてきた方々に「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」をお贈りし、ご功績を称えさせていただきたいと考えております。つきましては、ご多忙な中、誠に恐れ入りますが、候補者のご推薦いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

1968(昭和 43)年創設の日本対がん協会賞は、長年にわたり対がん活動に力を尽くされた個人と団体が対象です。この特別賞である朝日がん大賞は、2001(平成 13)年に朝日新聞社の協力を得て創設されました。がん予防を中心とした研究や開発、がん患者支援などで優れた実績を挙げ、いまま第一線で活躍されている個人と団体が対象となります。

ご推薦いただいた方々は、有識者で構成する選考委員会が審査し、日本対がん協会賞と朝日がん大賞をそれぞれ決定いたします。受賞者はがん征圧月間を迎える 9 月 1 日(金)付で発表し、8 日(金)に開催する「がん征圧全国大会 山口大会」で表彰します。日本対がん協会賞の受賞者には正賞(盾)と副賞(記念品)、朝日がん大賞の受賞者には正賞(盾)と副賞(100 万円)をお贈りします。

日夜ご尽力されている方々を顕彰するため、多くの方のご推薦をいただきたいと存じます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

謹白

※推薦状と論文資料は、下記宛へご郵送いただきますようお願いいたします。

送付先：〒104-0045 東京都中央区築地 5-3-3 築地浜離宮ビル 7 階

日本対がん協会「日本対がん協会賞」係 宛

締め切り：6 月 16 日(金)必着

※詳細は小協会サイト (<https://www.jcancer.jp/recruit/14019>) をご参照下さい。

こちらから推薦用紙もダウンロードできます。

■お問い合わせ先■

日本対がん協会 広報担当 今井

電話：03-3541-4771(代表)

メール：jcskouhou@jcancer.jp

日本対がん協会賞・朝日がん大賞

推薦の手引き

公益財団法人 日本対がん協会

◇ 日本対がん協会賞

【趣旨】

対がん活動に顕著な功績のあった個人及び団体を顕彰して、がん征圧運動の一層の高揚を図ることを目的とする。

対がん活動とは、広くがん征圧のための運動、事業、研究を指すが、とくに「予防活動」の第一線で顕著な功績を上げた個人（団体）や、多年にわたって地道な活動を続けた個人（団体）に光をあてたい。

【推薦基準】

- ①「多年」とは、おおむね10年以上をいう。
- ②適正ながん知識の普及や啓発に対する功績。
- ③精度の高い各種がん検診の普及や推進に対する功績。
- ④奉仕活動や募金活動に対する功績。
- ⑤がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発での功績。

◇ 朝日がん大賞

【趣旨】

日本対がん協会賞の特別賞として、21世紀になった平成13年に創設した。

対象分野は、日本対がん協会の活動の柱である「がん予防」全般とし、がん征圧に向けて優れた実績をあげて社会に貢献し、かつ、第一線で活躍している個人・団体を顕彰する。

将来性のある研究の発掘、医療機器類の研究・開発、患者・治癒者の活動やケアなどの分野も対象とする。

【推薦基準】

- ① がんの予防や検診のあり方等の研究で、将来期待できる成果を挙げた個人や団体。
- ② 画期的な検診機器の開発に関して功績を挙げた個人や団体。
- ③ 患者・治癒者を支える研究や活動などで顕著な貢献をした個人や団体。

◇ 選考と表彰

- ①選考は、両賞とも「日本対がん協会賞選考委員会」で行なう。
- ②ともに年度賞とし、日本対がん協会賞は個人、団体各数件、朝日がん大賞は1件とする。
- ③表彰は、両賞とも毎年9月の「がん征圧全国大会」で行なう。
- ④日本対がん協会賞には、正賞（レリーフ）と副賞（記念品）
朝日がん大賞には、正賞（レリーフ）と副賞（100万円）を贈る。
- ⑤選考委員会の事務局は、日本対がん協会に置く。

＝2001（平成13）年4月決定

＝2010（平成22）年4月、7月改訂

＝2013（平成25）年3月改訂

＝2015（平成27）年3月改訂